

経営比較分析表（令和元年度決算）

香川県高松市 みんなの病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	ド透 I 訓方	救 臨 感 へ 災 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
427,131	27,300	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

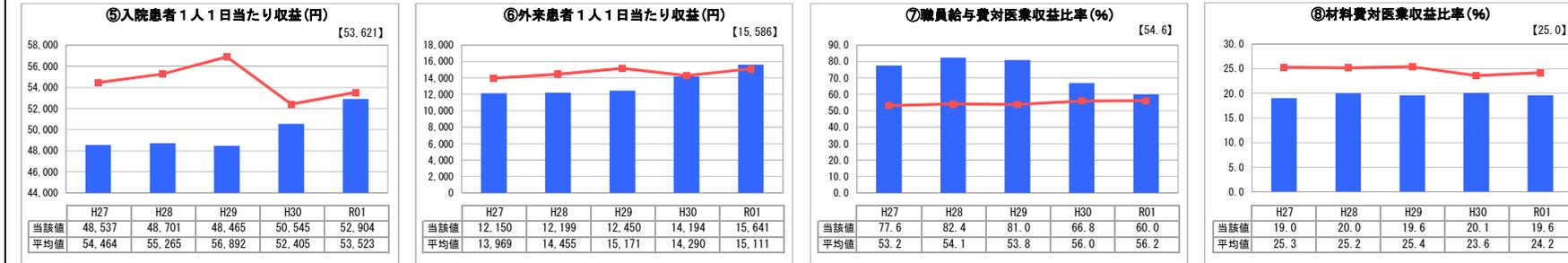
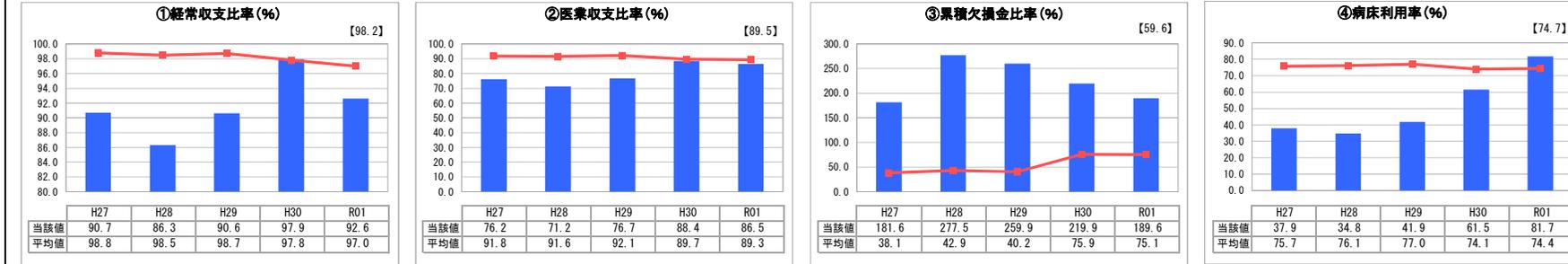
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
299	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	305
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
296	-	296

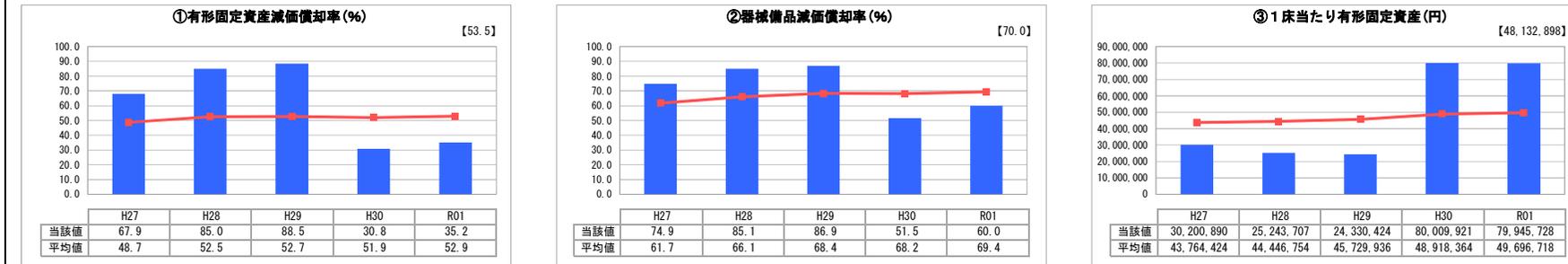
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成30年度	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割
急性期医療を担う中核病院として、地域医療機関との連携を図りながら、良質な医療を提供することはもとより、公立病院として、救急医療や、がん治療などの専門医療、災害時や感染症に対する医療、実習生等の受入れによる人材育成など、採算性等の面から民間医療機関では困難な医療サービスの提供に努めている。

II 分析欄
1. 経営の健全性・効率性について
④病床利用率については、経年比較において、大きく改善しており、また類似病院平均値についても大きく上回っているものの、①経常収支比率においては、前年度との比較においては、大きく悪化している。これは医業収益が増加したものの、施設整備に係る減価償却費が新たに計上されたことなどによるものである。①、②、⑦といった比率を改善するためには、医業収益を更に増加していく必要があり、今後は④といった患者数だけでなく、⑤入院患者1人1日当たり収益を増加を図るための取組を重点的に進める必要がある。

2. 老朽化の状況について
開院から2年目であることから、資産の老朽化を示す①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率については類似病院平均値を下回り、③1床当たり有形固定資産については、類似病院平均値を上回っている。一方で、⑤入院患者1人1日当たり収益が平均を下回っており、投資に対する十分な収益が得られていない状態である。このため更なる病床管理の徹底等により、効率的に収益を増加していく必要がある。

全体総括
開院2年目を迎えた「みんなの病院」では、本市南部地域の中核病院として、引き続き、急性期病院としての医療機能の充実を図る一方、地域包括ケアも見据えた病床機能の強化や人材育成についても、積極的に取り組んだ。この結果、医業収益が前年度を大きく上回ったものの、施設整備に係る減価償却が新たに計上されたことや、施設規模が拡大したことによる施設管理経費などが増加したことにより、経常収支比率は低下した。令和2年度以降においても、みんなの病院整備に係る企業債の償還が始まることなどにより、引き続き厳しい経営状況が想定されるが、第3次高松市病院事業経営健全化計画に基づき、収支両面において、実効性のある取組を進めたい。